

主な出来事

EVENT

2022年4～6月

	三重・愛知	全国・海外
4月	●第1回スケートボード日本オープン(ストリート)が松阪市総合運動公園スケートパークで開催。2019年の開園以来、初めての全国大会。〈4/1〉 ●中部電力などは田原市に建設するバイオマス発電所の起工式を開催。出力は国内最大級の11万2千kW。2025年9月運転開始予定。〈4/15〉 ●リオ・ホテルズ(東京都)は津市が出資する第三セクターが経営する津センターパレスビルに「ホテル津センターパレス」を開業。〈4/25〉	●改正民法・少年法が施行。成人年齢を20歳から18歳に引き下げ。成人の定義が見直されるのは約140年ぶり。〈4/1〉 ●東京証券取引所が株式市場を4区分から「プライム」「スタンダード」「グロース」の3区分に再編。大規模な市場区分再編は約60年ぶり。〈4/4〉 ●米ツイッターは米テスラCEOのイーロン・マスク氏による買収提案受け入れに合意。買収額は同氏による既存保有分の株式を含め約440億ドル。〈4/25〉
5月	●明治用水頭首工(豊田市)で大規模漏水が発生。給水地域は豊田市や岡崎市など9市3町で、トヨタ自動車関連企業など131事業所に影響。〈5/17〉 ●太平洋の国々と国内の自治体が交流する第2回太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議が伊勢志摩地域で開催。〈5/17～18〉 ●三重県議会は人種や性自認などあらゆる差別解消を目的とした「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例案」を全会一致で可決。〈5/19〉	●韓国の保守系政党「国民の力」の尹錫悦(ユン・ソンニョル)氏が第20代大統領に就任。保守政権への交代は5年ぶり。〈5/10〉 ●沖縄日本復帰50年。沖縄と東京の2会場をつないで記念式典を同時開催。復帰の日の式典が同時開催されるのは1972年の復帰当日以来。〈5/15〉 ●バイデン米大統領が就任後初来日し岸田文雄首相と会談。日米豪印4カ国の協力枠組み「クアド」の首脳会合を開催。〈5/22～24〉
6月 フォーカス	●東邦ガスと知多市はCO₂と水素から都市ガスの主原料であるメタンをつくる「メタネーション」技術の実証実験を2023年度に始めると発表。〈6/6〉 ●多気町など5町で実施する「三重広域連携モデル」が国の「デジタル田園都市国家構想」推進交付金の対象として三重県内で唯一の採択。〈6/17〉 ●三重中央自動車学校(津市)は中部7県の自動車学校で初めて電気自動車(EV車)の教習車を2台導入。全国でも3番目。〈6/23〉	●国連安全保障理事会(15か国)の非常任理事国にアジア太平洋枠から立候補の日本が選出。日本の選出は12回目为国連史上最多。〈6/9〉 ●海外観光客の受け入れを2年2か月ぶりに再開。感染防止のガイドラインや入国者数の上限を設けながらの慎重なスタート。〈6/9〉 ●子ども政策の司令塔となる「子ども家庭庁」設置関連法案が参院本会議で可決。首相直属組織として2023年4月に創設。〈6/15〉

2022年7～9月の予定

	三重・愛知	全国・海外
7月～9月	●徳川園(名古屋市)が改装オープン。民間資金で公園整備を進めるパークPFI方式を取り入れ。国際会議やイベントの誘致も積極的に行う方針。〈7/1〉 ●国内最大規模の国際芸術祭の一つ「あいち2022」が愛知芸術文化センターなどを会場に開催。国内外から多数のアーティストが参加。〈7/30〉 ●津市営の榊原温泉湯の瀬が建て替えオープン。介助や介護が必要な障害者や高齢者が宿泊や休憩できる福祉型滞在施設は県内で初。〈8/28〉	●第26回参議院議員通常選挙。改選定数は選挙区74、比例代表50の計124。2021年発足の岸田文雄政権の信任を問う国政選挙に。〈7/10〉 ●長崎～武雄温泉(佐賀県)を結ぶ西九州新幹線(営業キロ69.6km)が開業。所要時間が30分短縮され、博多～長崎間が最速1時間20分に。〈9/23〉 ●日中国交正常化50年。外務省は財界主体の日中交流促進実行委員会と連携し一定の基準を満たす事業を国交正常化50周年事業に認定。〈9/29〉

フォーカス

多気町など5町の「三重広域連携モデル」が「デジタル田園都市国家構想」に採択

デジタル化により都市部と地域の格差を縮める、国の「デジタル田園都市国家構想」で、多気町、明和町、大台町、度会町、紀北町が提案した「三重広域連携モデル」事業が、推進交付金の対象として三重県内で唯一採択されました。

当地域では大都市への人口流出、伊勢志摩地域からの観光客の周遊率の低さなどの課題を抱えるなか、デジタル技術を活用したポータルサイト構築やデジタル地域通貨の普及促進など、地域活性化の土台となる三重広域連携DXプラットフォームを構築します。

多気町の久保行央町長は「少子高齢化などの課題を克服していくためには自治体間の連携が必要」と抱負を述べました。